

会 議 録

会議の名称		令和８年度第１回桜学園コミュニティ・スクール協議会		
開催日時		令和８年(2026年)６月２日（火）開会 9:30 閉会 11:30		
開催場所		つくば市立桜中学校会議室		
事務局（担当課）		教育局生涯学習推進課		
出席者	委員	酒井 政彦、後藤美千代、飯島 忠夫、久松 正樹、 吉田 博、白砂 統己、米徳 康博、細田 修、天貝 貢、 中泉 正市、宮本 健次、野村 光良、中埜 貴元、 水谷 浩子、 栄小学校：校長 君和田 裕之、教頭 小木曾 麻里子 九重小学校：校長 中原 卓治、教頭 沼野 武 栗原小学校：校長 関 美智子、教頭 山田 智久 さくら小学校：校長 岡野 知樹、教頭 真木 淳 桜中学校：校長 鈴木 孝至		
	その他			
	事務局	教育局生涯学習推進課 課長補佐 瓜阪 恵理名 参事 山口 健次 社会教育主事 柴崎 英二 地域連携教育指導員 酒井 和宏		
公開・非公開の別		☒ 公開 ☐ 非公開 ☐ 一部公開	傍聴者数	0人
非公開の場合はその理由				
議題		熟議「今年度のＣＳ活動計画について」		
会議録署名人		確定年月日		年 月 日
会議次第	1 開会 2 任命書交付 3 委員自己紹介 4 説明・報告事項 ・令和８年度つくば市のコミュニティ・スクール重点項目について ・令和７年度地域と学校の連携事業決算報告及び令和８年度地域と学校の連携事業予算計画について 5 会長・副会長の選出 6 協議			

	(1) 学校運営の基本方針について (2) 熟議「今年度のCS活動計画について」 (3) その他 ・コミュニティ・スクール推進会議の今後の予定について 7 閉会
--	--

<審議内容> 1 開会 沼野委員（会場校担当）：令和8年度第1回桜学園コミュニティ・スクール推進会議を開会する。会議を進行するにあたり書記を栗原小学校の山田委員にお願いする。→承認 2 任命書交付 沼野委員（会場校担当）：任命書は机上に配付している。→各委員で確認 3 委員自己紹介 出席委員全員が自己紹介 4 説明・報告事項 ・令和8年度つくば市のコミュニティ・スクール重点項目について 事務局（柴崎）： ・冊子「つくば市のコミュニティ・スクール」の説明。 ・「協議会での写真撮影は禁止しない」、「各校長からグランドデザイン説明の際に業務量改善、働き方改革についても説明・承認すること」、「予算については地域と連携した内容について支出可能」な旨の説明。 ・CSコーディネーター4名の紹介。 ・令和7年度地域と学校の連携事業決算報告及び令和8年度地域と学校の連携事業予算計画について 沼野委員（会場校担当）：決算報告、予算計画は各校の熟議の中で説明をお願いする。 5 会長・副会長の選出 ・立候補者がいなかったため、事務局から昨年度に引き続き会長に久松委員、副会長に水谷委員の提案→承認 6 協議 (1) 学校運営の基本方針について ・各学校長からグランドデザインについて、桜中学校、九重小学校、栄小学校、栗原小学校、さくら小学校の順に説明。 ・桜学園の方針について、学園要覧をもとに学園長の桜中 鈴木校長から説明。 →各校のグランドデザインについて承認	
--	--

(2) 熟議「今年度のCS活動計画について」

久松会長：桜学園として「金田台の生態系」などの自然や歴史、桜川の防災についての視点からも、年間の活動計画について検討していただきたい。

○各校で50分程度、活動計画等について話し合い、内容について共有

・桜中学校

「R8」地域活性化事業への中学生参加、
除草作業や70周年記念事業への地域の方の参加、
防災教育について委員からアドバイス

・九重小学校

お雛子保存会の出張授業について学校行事にも発展させて展開
技能教科の学習や除草作業への協力
運動会へサポーターズクラブ（保護者）や地域に協力を依頼
登下校の見守りや通学路の点検について地域と連携
民生委員、区長、学校の連携

・栄小学校

金田台の環境を守る会の授業実施について
自衛隊、危機管理課の協力のもと開く防災研修をCSにも広げて実施予定
奉仕作業への協力について
栄地区活性化協議会主催の音楽祭について

・栗原小学校

6年生とCS委員の話し合い
わくわくプロジェクトの実現に向けて（キャンプ、収穫祭など）

・さくら小学校

支援組織の立ち上げに伴い、CSにも協力を依頼

【質疑応答】

後藤委員：金田台の生態系についての授業を栄小学校で実施している。他校にも授業実施を広げていきたい。

中泉委員：さくら小学校は非常口誘導標識で、非常口誘導灯でないのは何故か？
→事務局（市）：詳しいことは調べないと分からないが、消防検査に合格しているのであれば問題ないのではないかと考える。

野村委員：各校の児童生徒数は現在どのくらいか。
→事務局（学校）：桜中365名、栄小235名、九重小192名、栗原小39名、さくら小570名

水谷委員：栗原小学校は、学区外からどのくらい通っているか。今後、学区外の方もCSに入ってくる手立ては何かしているか。

→事務局（学校）
約3分の1程度の児童が学区外から転入。現在も学区外からの保護者の協力も得ている。学区外からの保護者の紹介で講師を招いたりした。

(3) その他

- ・今後の開催予定：第2回令和8年11月25日(水) 会場：さくら小学校
第3回令和9年2月9日(火) 会場：栄小学校
- ・CSのアンケート結果についての説明。CS紹介動画の説明。連絡手段について

令和 8 年度第 1 回桜学園コミュニティ・スクール 協議会

日時：令和 8 年 6 月 2 日（火）

9：30～11：30

場所：桜中学校 会議室

次 第

1 開 会

2 任命書交付

3 委員自己紹介

4 説明・報告事項

- ・令和 8 年度つくば市のコミュニティ・スクール重点項目について
- ・令和 7 年度地域と学校の連携事業決算報告及び令和 8 年度地域と学校の連携事業予算計画について

5 会長・副会長の選出

6 協 議

(1) 学校運営の基本方針について

(2) 熟議 テーマ「今年度の CS 活動計画について」

(3) その他

- ・コミュニティ・スクール協議会の今後の予定について

7 閉 会

「生きる力」の育成

協働的な
学び

人との
かかわり

地域と
ともに育む

共に学ぶ



学び合い・教え合い



学び合い・教え合い

共に磨く



桜樹音楽祭



学園あいさつ運動

共に鍛える



桜中体育祭



教育講演会（心の教室）



桜学園

学園要覧 令和8年度

夢を持ち、自立して社会に貢献できる児童・生徒の育成



栄小学校



桜中学校



九重小学校



さくら小学校



栗原小学校

桜学園 つくば市立

栄小学校 つくば市金田5-4 〒305-0018

〈HP〉<http://www.tsukuba-school.jp/sakae/>

九重小学校 つくば市上ノ室2-12-6 〒305-0023

〈HP〉<http://www.tsukuba-school.jp/koko/>

栗原小学校 つくば市栗原2-0-18 〒305-0001

〈HP〉<http://www.tsukuba-school.jp/kuri/>

さくら小学校 つくば市春風台1-6-1 〒305-0001

〈HP〉<https://www.tsukuba-school.jp/sakae/>

桜中学校 つくば市さくらの森3-2 〒305-0019

〈HP〉<http://www.tsukuba-school.jp/sakura/>

TEL029-857-2037 FAX029-857-6179

〈E-mail〉 sakae01@tkb.ed.jp

TEL029-857-2036 FAX029-857-6209

〈E-mail〉 koko01@tkb.ed.jp

TEL029-857-2049 FAX029-857-6315

〈E-mail〉 kuri01@tkb.ed.jp

TEL029-896-6670 FAX029-857-7735

〈E-mail〉 sakurae01@tkb.ed.jp

TEL029-857-2038 FAX029-857-6342

〈E-mail〉 sakura01@tkb.ed.jp

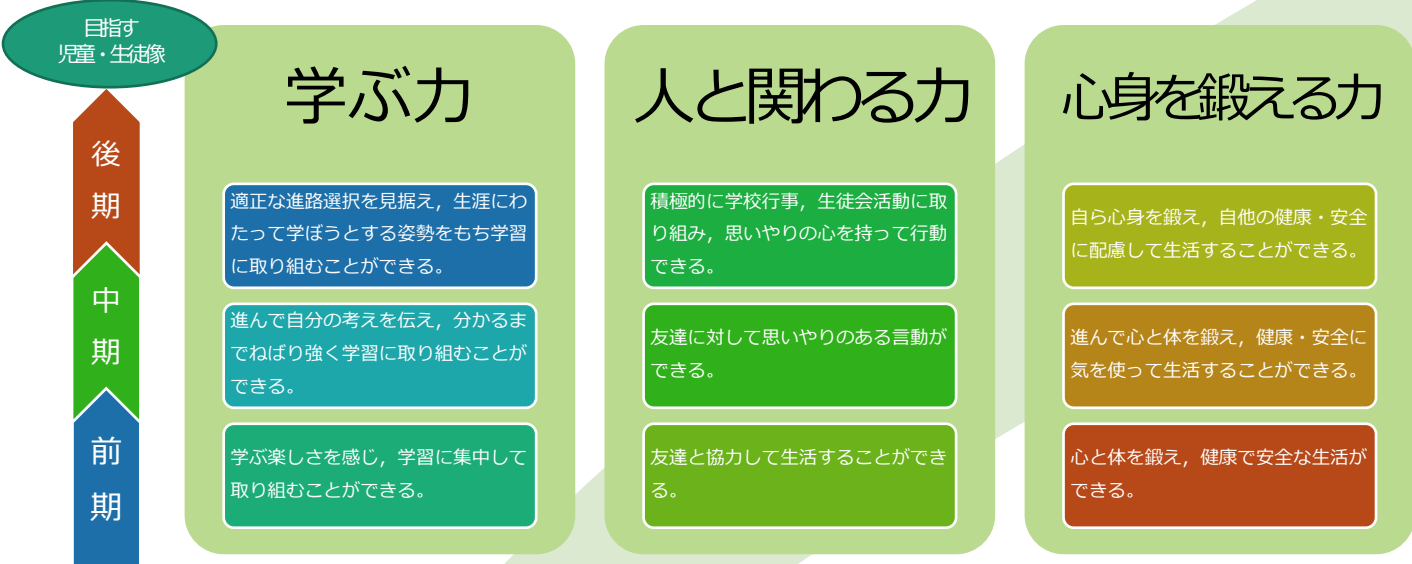
桜学園が進める小中一貫教育

つくば市教育の
基本理念

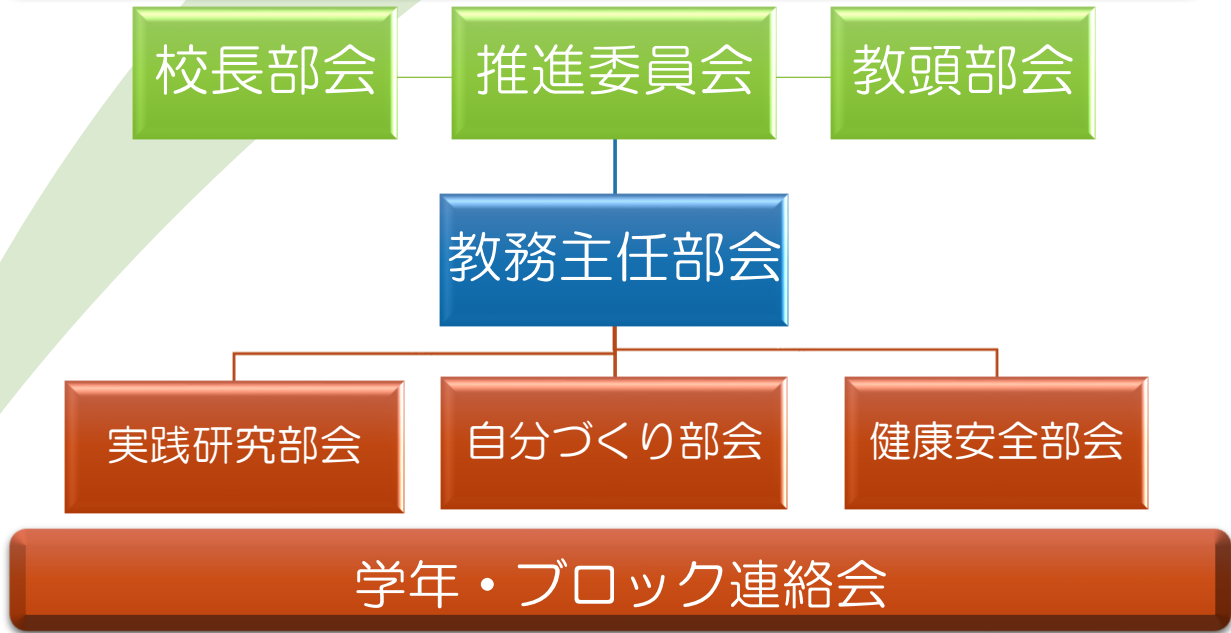
夢に向かってよりよい未来をひらく
「学び」の実現

輝く未来

研究テーマ「自らの考えを深め、表現することができる児童生徒の育成」



桜学園小中一貫教育推進組織



具体的な取組

実践研究部会

- ☆主体的に学ぶための課題設定と単元構成の工夫を通して
- ☆「主体的・対話的で深い学び」のある授業実践
- ☆「学習系統表」の活用
- ☆「学習の手引き」の活用
- ☆「UDの視点による授業改善」マニュアル活用
- ☆つくばスタイル科と各教科・領域を関連させた授業実践(キャリアパスポートの活用)
- ☆小小、小中連携した学園研修
- ☆9年間を見通した桜学園児童・生徒の学びの姿の共有
- ☆小中連携豊かな心育成事業
- ☆発信型プロジェクト学習
- ☆考えを深め合う活動



授業実践
(主体的・対話的で深い学び)

自分づくり部会

- ☆桜学園共通 生活目標の実践
- ☆生徒指導部会での情報交換
- ☆小中連絡会(6年・7年, 6年・9年)
- ☆桜学園マナーアップ運動
- ☆桜学園いじめゼロフォーラム
- ☆みんなのやくそくファイブの実践
- ☆生徒指導系統表の活用



あいさつ運動(小中合同)

健康安全部会

- ☆桜学園共通 健康安全目標の実践
- ☆地域防災訓練の実施(引き渡し訓練, 桜学園防災連絡会議)
- ☆地域の人材を生かした防災
- ☆9年間を見通した体力づくり(体力テストの分析と体力向上の共通実践)



外部講師による防災教室

令和8年度 桜中学校グランドデザイン

本県教育目標

- ひとりひとりの能力を開発し
豊かな人間性をつちかう
- じょうぶな身体をつくり
たくましい心を養う
- 郷土を愛し協力しあう心を育てる

【学園教育目標】

夢をもち、自立して社会に貢献する児童・生徒の育成

【本校教育目標】

大志と信念をもち やさしく たくましく
しなやかに生きる生徒の育成

本市の目指す学園・学校像

- みんなが幸せを実感できる学園・学校
- 「教え」から『学び』へ
- 「管理」から『自己決定』へ
- 「認知能力偏重」から
『非認知能力の再認識』へ

めざす生徒像

- ・自己の可能性に挑戦する生徒
- ・感謝の気持ちを大切に行動する生徒
- ・新たな時代を切り拓く生徒

めざす学校像

- ・生徒が成長できる学校
- ・教師が人間力を磨き続ける学校
- ・保護者や地域から愛される学校

めざす教師像

- ・人間力向上を目指し学び続ける教師
- ・相手の気持ちに寄り添える教師
- ・互いに支え磨き合える教師

経営の理念

生徒の成長と学校に関わる全ての大人に幸せを

経営の基調

時を守り、場を清め、礼を正す

組織目標

●自分の可能性を追及できる教育活動の実践(指導力向上)

共に 学ぶ

確かな学力の向上

- ◆個性や興味関心に応じた指導の工夫や改善
- ・生徒が自分の成長を実感できる授業
- ・探究型及び課題解決型授業の充実
- ・ICT機器を活用した個別最適な学び
- ・対話を通じて養う合意的形成力
- ・「教えられる授業」から「自らが考える授業」へ
- ・外部人材や地域資源の活用
- ・系統性を生かしたキャリア形成

共に 磨く

豊かな人間性の育成

- ◆主体性を育み、自分たちでよりよい生活へ改善しようとする意識や態度
- ・互いに認め合い、支え合い、高め合う学級経営
- ・「考え、議論する」道徳授業の積み重ね
- ・自治的能力や社会力の育成
- ・教育的ニーズを意識した特別支援教育
- ・人権意識を育てる環境整備
- ・生徒会、実行委員会制度の進化と充実
- ・クリティカルな視点から生まれる改善策

共に 鍛える

健康増進と体力の向上

- ◆自分の命を自分で守る積極的な取組
- ・積極的な生徒指導の推進
- ・自己判断力を育てる防災教育
- ・『命』を大切にすること教育
- ・SOSの出し方に関する教育
- ・共に見て、触って、揺らして確認する安全点検
- ・不登校生徒の居場所の確保(校内フリースクール)
- ・食育の推進(重要性の啓発活動)
- ・部活動の充実
- ・災害等への対応能力の育成
- ・緊急時に備えた避難所設営経験

共に 育てる

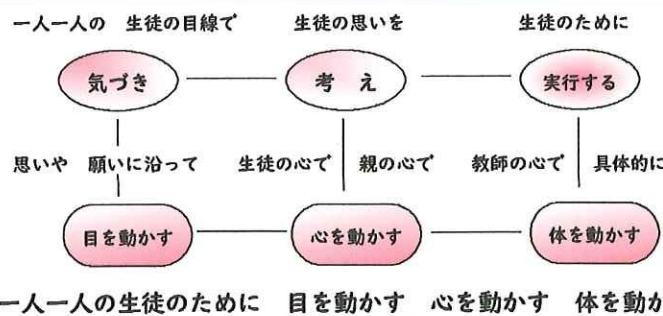
家庭・地域との連携

- ◆地域に愛され信頼と活力を育む学校づくり
- ・コミュニティ・スクールの実施
- ・地域と共に歩む桜中の創造
- ・地域の教育資源の積極的な発掘と活用
- ・防災、減災を意識した地域の灯台としての役割
- ・小中一貫教育の充実
- ・9年間を意識した規範意識の醸成(ルールメイク)
- ・いじめせ'ロフォーラムの公開
- ・地域総合防災訓練の実施
- ・職場体験学習での地域連携

学び高め合う教師集団

- ◆人間力の向上と学び続ける教師
- ・授業改善に努める授業研究とOJT研修の推進
- ・SLUーム、SC、SSW等との緊密な連携
- ・チーム桜を意識した校務の運営
- ・コンプライアンス意識の高揚につながる同僚性の構築
- ・外部研修への積極的な参加

学校経営のキーワード



働き方改革の推進

- ◆ゴール設定の確認とタイムマネジメント意識改革
- ・プロアクティブな生徒指導
- ・授業力の向上
- ・地域と学校の協働活動による部活動
- ・新たに創造する桜中型カリキュラムマネジメント
- ・対時間効果と生徒目線を意識した業務内容の改善

令和8年度 教育活動スローガン

挑戦・感謝・創造

ドラマチック桜70

一人一人が 自分だけの可能性を追及し、共に成長できる桜中～70年から新たな歴史の創造～

学園研究テーマ

自らの考えを深め、表現することができる児童生徒の育成
～ 課題解決のための協働的な学びを通して ～

令和8年度 桜学園つくば市立栄小学校 グランドデザイン

本県の教育目標

- ・ひとりひとりの能力を開発し豊かな人間性をつちかう
- ・じょうぶな身体をつくりたくましい心を養う
- ・郷土を愛し協力しあう心を育てる



桜学園教育目標

夢をもち、自立して社会に貢献する児童・生徒の育成



学校教育目標

認め合い、学び合い、自分で考え行動する児童の育成

目指す児童像

進んで学ぶ子 思いやりのある子 たくましい子

組織目標

- 主体的・対話的で深い学びを実現する授業の創造
- 自らのよさを発揮できる居場所づくり・絆づくり
- キーワード：Future Starts Here 栄小！～未来はここから～

学校経営理念

「夢に向かって いそいそと輝き 活力のある学校」

- 児童が充実感をもてる教育活動の推進
- 教師が使命感と誇りをもって教育にあたる職場環境づくり
- 学校と家庭、地域が連携した学校づくり

つくば市教育大綱

- ・「教え」から「学び」へ
- ・「管理」から「自己決定」へ
- ・「認知能力偏重」から「非認知能力の再認識」へ

つくば市の目指す 学園・学校像

みんなが幸せを実感できる
学園・学校
～ 自己実現できる学校・
みんなで支えあい
みんなが生き生きとした学校～

目指す学校像

- 児童が毎日楽しいと感じる学校
- 教職員が働きがいを実感できる学校
- 保護者や地域から信頼される学校

目指す教師像

- 自らの人間性・社会性・専門性を高めていける教師
- 児童・保護者・地域から信頼され慕われる教師
- 児童の可能性を引き出すことができる教師

学園研究テーマ

自らの考えを深め、表現することができる児童生徒の育成

学び合いプラン

＜確かな学力を育む教育の推進＞
○児童の力を最大限に発揮し、伸ばしていく授業の展開

- ・児童の主体的な学びや対話・協働を促す多様な授業の提供
- ・自律的な学習者の育成を目指した「教え」から「学び」への転換
- ・児童の理解を高め、思考を深める効果的な ICT 活用
- ・特別支援教育の視点を生かしたわかりやすい授業づくり

【数値目標】

「確かな学力」等の学校評価アンケートで肯定的な評価の割合 80%

ふれ合いプラン

＜豊かな心を育む教育の推進＞
○夢・感動のある楽しい集団づくり

- ・「居場所づくり」、「絆づくり」を目指した学級経営の推進
- ・対話を通じた共感的な人間関係を築く学級集団づくり
- ・児童によるルールメイキング等の取組
- ・児童の自己決定の場の確保
- ・係活動や委員会活動の充実
- ・思いやりの心を育てる道徳科の指導の工夫

【数値目標】

「豊かな心」等の学校評価アンケートで肯定的な評価の割合 80%

鍛え合いプラン

＜健やかな体を育む教育の推進＞
○活力ある生活を送るための健康・体力づくり

- ・基礎体力向上を目指した運動習慣づくり
- ・運動能力向上に向けた体育科学習指導の工夫
- ・心身の健康維持に向けた自己管理能力の育成
- ・養護教諭と連携した保健教育の充実

【数値目標】

「進んで体力づくり」をしていると答える児童 80%

磨き合いプラン

＜桜学園小中一貫教育の推進＞

- 小中連携
- ・学園研究テーマの具現化に向けた授業研究
- ・クリーン作戦、マナーアップ運動など桜学園共同の特別活動の充実
- ・防災意識の高揚のため桜学園合同の地域防災訓練の実施

○保幼小連携

- ・相互授業参観等の定期的な実施
- ・保幼小連絡会議の効果的な実施

【数値目標】

「小中一貫教育」等の学校評価アンケートで肯定的な評価の割合 80%

安全で安心な学校

＜安心・安全な学校環境づくり＞

- ・保護者や防犯諸団体等との連携と情報共有
- ・危機管理の徹底
- ・児童の危機回避能力の育成
- ・いじめ、不登校への迅速かつ丁寧な組織的対応
- ・相談体制・支援体制の充実
- ・発達段階や個に応じた生徒指導

【数値目標】

「けが等に気を付けて自分でよく考えて行動している」と答える児童 80%

社会に開かれた学校

＜信頼のある学校づくり＞

- ・各種便り、学校ホームページ等による積極的な情報発信
- ・学校評価の積極的な活用

＜地域と共にある学校づくり＞

- ・外部人材の活用
- ・コミュニティ・スクールの積極的な推進

【数値目標】

教育活動のねらいや児童の様子が保護者によく伝わっているという評価の割合が 90%

教職員に活力がある学校

＜働き方改革・メンタルヘルスケアの推進＞

- ・やりがいと働きやすさを目指す働き方改革の推進
- ・主体的な教員研修の充実

＜教職員の資質能力の向上＞

- ・教育公務員としてのコンプライアンスの遵守
- ・日々の関わりとライフプランをもとにした教員研修の充実

【数値目標】

勤務時間外在校等時間の月 45 時間以内、年間 360 時間以内

令和8年度 桜学園つくば市立九重小学校グランドデザイン

【茨城県教育の目標】
ひとりひとりの能力を開発し
豊かな人間性をにつかう
じょうぶな身体をつくり
たくましい心を養う
郷土を愛し 協力しあう心を育てる

【校訓】
まじめになろう 人につくそう 正しく強くなろう

【学園教育目標】
夢をもち、自立して社会に貢献できる
児童・生徒の育成

【つくば市の目指す学園・学校像】
みんなが幸せを実感できる学園・学校
～自己実現できる学校・みんなで支え
合い、みんなが生きてきた学校～
○教えから学びへ
○管理から自己決定へ
○認知能力偏重から
非認知能力の再認識へ

【学校教育目標】
夢や目標に向かって 自ら学び、力を合わせ、前向きに取り組む児童の育成

【目指す学校像】
・子供にとって幸せを実感できる学校
・教師にとって 能力が発揮できる学校
・家庭や地域に信頼され 開かれた学校

【目指す児童像】
「ここのえ」
こころやさしく友達に
こころをこめて何事も
のびのびチャレンジ
えがおであいさつ

【目指す教師像】
・児童一人一人を大切にする教師
・能力を十分に発揮する教師
・チームで取り組む教師

【学校経営方針】
「正解が用意されていない困難な課題にも他者と共に果敢に挑める人財を育てる学校」
○「けじめ・あいさつ・思いやり」を胸に、笑顔で充実した生活を過ごせる学校
○教職員一人一人が個々の能力やよさを十分に発揮し、チームとして取り組める学校
○保護者・地域と連携、協働して子どもを育てることができる学校

【組織目標】
「他者と積極的に関わりながら、自らの考えを深めることができる探究的な学びの推進」
○学習意欲を高める課題設定の工夫と「試行錯誤・アウトプット・振り返り」の徹底
○児童が対話的・協働的な学びを実感できるための授業改善
○一人一人が自己選択・自己決定できる個別最適な学びの場の設定とICTの効果的な活用

深め合う

- 主体的に学ぶための授業改善
・単元構成を意識した課題設定
・試行錯誤する場の意図的な設定
- 考えを深めるための授業改善
・アウトプットの場の意図的な設定
・次の課題を見出せる振り返り
- 個別最適な学び
・ICTの効果的な活用
・個の定着に合わせた学習の提供

考えを伝え深め合う授業実践
【達成目標】「授業が楽しい」各学年88%、「本物の学び」85%「個別最適な学び」各項目各学年88%

認め合う

- 自己肯定感・自己有用感の向上
・異学年交流やブロック活動の充実
・係・委員会等、自発的活動の充実
- 他者との対話による相互理解
・「九重トーク」の充実
・「いじめ防止フォーラム」実施
- 道徳教育の充実
・「考え・議論する道徳」の実践

幸せに向かうための学びの実践
【達成目標】「非認知能力の育成」各項目各学年85%
「自己決定できる学校環境」各項目各学年90%

鍛え合う

- 命を守る自己管理能力の育成
・防災訓練の充実
・情報モラル、薬物乱用防止教育の充実
・「SOSの出し方に関する教育」の確実な実践
- 健やかな身体づくり
・外遊びの奨励
・食に関する教育の充実
・「ゆったりマラソン」の実施

生命を尊重する姿勢の育成
【達成目標】「自分の健康・安全を考えて生活」85%

信頼される学校

- 安全・安心学校作り
・教職員の危機管理の徹底と共通理解・チーム対応
・児童一人ひとりの心の居場所となる学校・学級づくり
・地域や学園と連携した学園・学校防災
- 教職員の資質向上
・働き方改革推進のための業務の工夫
(教材研究と子どもと向き合う時間の確保)
・コンプライアンスの確保とメンタルヘルス
(教職員との面談の設定)
・学園研修や校内研修の充実

信頼される学校づくり【達成目標】学校評価肯定意見85%

地域と共にある学校

- 積極的な情報発信
・HPなどを活用した情報発信、学校評価の有効活用
- 桜学園コミュニティ・スクール
・学園・学校の目標の共有化
・地域人材の活用
(おやじの会、読み聞かせ、保護者ボランティア等)
- 関係機関との連携
・スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの活用
- 外部人材の活用
・つくば科学出前レクチャー、市立図書館、租税教室等

地域と連携・開かれた学校づくり【達成目標】学校評価肯定意見85%

【桜学園研修テーマ】
「自ら学ぶ意欲をもち、考えを深めあう児童生徒の育成 ～課題設定と単元構成の工夫を通して～」



令和8年度 桜学園つくば市立栗原小学校

グランドデザイン



本県教育の目標

ひとりひとりの能力を開発し
豊かな人間性をつちかう
じょうぶな身体をつくり
たくましい心を養う
郷土を愛し
協力しあう心を育てる



つくば市の目指す学園・学校像

みんなが幸せを実感できる学園・学校・幼稚園
～自己実現できる学校・みんなで支え合い、みんなが生き生きとした学校～

桜学園目標

夢を持ち、自立して社会に貢献できる児童・生徒の育成
【桜学園小中一貫教育の推進】
【桜学園研究主題】
自らの考えを深め、表現することができる児童生徒の育成

学校教育目標

夢に向かって、主体的・自律的に学ぶ児童の育成
～児童が主体的に取り組む学習活動等の工夫を通して～

〔学校経営の方針〕

～みんなが幸せを実感できる学校～

- 児童一人一人の「今を、そして将来をよりよく生きる」を支える学校づくり
- 柔軟に考え、行動し、他者と協働できる児童の育成
- 自分たちの生活を自分たちでよりよいものにしようとする意識や行動力の涵養
- 未来を担う児童の育成にあたる教育者としての使命感と責任の自覚、実践的指導力の向上
- 保護者・地域の思いや願いを真摯に受けとめることによる信頼される学校づくり



〔組織目標〕

- ・「教えから学びへ」児童が主体的に取り組む学習活動等の工夫を通し、児童の学力の向上を支える。
- ・「管理から自己決定へ」自律的に行動し、多様な他者と協働して課題解決に向かう児童を支える。
- ・業務改善に努めることで教師自らの生活の質を豊かにして人間性や創造性を高め、教育活動をマネジメントする。

目指す学校の すがた

- ・児童が学ぶ楽しさを感じる学校
- ・教職員が働く楽しさを感じる学校
- ・児童、保護者、地域、教職員みんなで共につくる学校

目指す児童の すがた

主体的・自律的に学ぶ子
自他の命・人権・思いを大切に行動する子

目指す教師の すがた

- ・児童に寄り添い共に歩む
- ・探究心をもち、学び続ける
- ・保護者や地域の願いを大切に

未来を拓く学びを支える
自主・自律・自立を支える
自己選択・自己調整・自己決定
学びを楽しむ

自主・自律・自立を支える
協働・他者とのかかわりを支える
異年齢や多様な他者との関係づくり
人権意識、自他の命を大切にする心
ルールメイキング等、自主的活動

非認知能力の醸成

健やかな体
健康安全に関する
自己管理能力

ゆるやかな協働

自分のペース、方法で学ぶ

多様な他者と学ぶ

身近な「？」を探究する

連携 ～家庭・地域・学園～

- ・積極的な情報収集、情報発信
- ・地域の人的・物的資源の活用
- ・学校評価の充実・活用
- ・学園内小中・小中間の連携協力
- ・保幼との連携・接続推進

安全・安心な学校づくり

- ・危機管理マニュアルの共通理解
- ・安全点検の計画的実施と速やかな修繕
- ・校舎内外巡視、児童看護の徹底
- ・災害安全(防災)に係る指導の充実
- ・生活安全、交通安全に係る指導の充実
- ・登下校時の見守りの協力依頼
- ・学園防災連絡会議、引き渡し訓練の実施

未来を拓く学びを支える	自主・自律・自立を支える	協働・他者とのかかわりを支える
試したり考えたりを繰り返しながら、課題解決に取り組んでいる 85%	目標に向かって、自分を振り返りながら進めている 85%	学校が楽しい 80%



令和8年度 さくら小学校 グランドデザイン



【茨城県】

<学校教育推進の重点>
 【すべての子どもの可能性を引き出す活力ある学校づくり】
 ・カリキュラム・マネジメントの確立
 ・未来を拓く学びの展開
 ・安心して学べる環境の保障

桜学園 教育目標

夢をもち、自立して社会に貢献できる
 児童・生徒の育成
 【みんなが幸せを実感できる学園・学校】

【つくば市】

<最上位目標>
 【一人ひとりが幸せな人生を送ること】
 ・教えから学びへ
 ・管理から自己決定へ
 ・認知能力偏重から
 非認知能力の再認識へ
 ☆問いから始まる学び☆

経営方針

自分の「やってみたい」が、
 みんなの幸せにつながる学校づくり

目指す児童の姿

・居場所があり安心できる姿
 ・ワクワク（できた・分かった・もっとやってみたい）と学びに夢中になって取り組む姿
 ・人のためになることを考え、行動する姿

学校の教育の柱

・「安心・安全」と「心が動く瞬間」がある
 ・「自己決定」を大切にする
 ・「ありがとう」がいっぱいある

目指す教師の姿

・児童の気持ちに寄り添いインクルーシブでフラットな姿
 ・自らの学びを楽しみながら問い続け学び続ける姿
 ・ワークライフバランスを実践する姿

組織目標

- 1 互いを認め合い、自分を安心して表現できる心の安定基地となる学級・学年・学校づくり
- 2 児童同士をつなぎ、対話と自己決定のあるワクワクする授業づくり
- 3 児童と向き合う時間の確保とワークライフバランスを意識した働きやすい職場環境づくり

学校経営ビジョン

1 幸福感の基盤となる安心・安全な学校・学級づくりの推進

- ・こどもの権利を尊重し、多様性の認識に基づくインクルーシブでフラットな関係の構築
- ・グループワーク等を活用したよりよい関係づくり（いじめの未然防止）
- ・みんなのことを考え行動できるルールメイキングを核とした特別活動の充実

2 幸福感の核となる「対話」と「自己決定」のある授業改善

- ・「聴く」を大切にして学び合う、協働的な学びの実現
- ・単元を意識した自己調整（学ぶ内容や学び方の選択等）のある学びの推進

3 本物の問いにもとづく、社会とのつながりを生かした探究的な学びの推進

- ・社会で学ぶ、社会を学ぶ教育の推進（外部講師・専門家・地域人材等の積極的活用）
- ・つくばスタイル科を核としたつくば 21 世紀型能力の育成

4 先進的な ICT を活用した学びと校務の推進

- ・教室の枠を超え、個別最適・協働的な学びをシームレスにつなぐ活用
- ・デジタルツールを有効活用した校務の効率化と教育の質の向上

5 みんなが幸せになる、特別ではない特別支援教育の実施と多様な学びの支援

- ・ニーズに応じた合理的配慮の提供と全教職員による支援体制の構築
- ・ハートフル S ルームの効果的な活用による、居場所と学びの保障

6 心身の自己管理能力を高める取組の推進

- ・専門家、専門職員と連携した健康課題に対応する保健教育、食育の推進
- ・生活習慣の確立とメディアリテラシーの向上にむけた家庭との連携強化

7 働き方改革の推進と人財育成

- ・働きがいの向上とタイムマネジメント意識の徹底、休憩時間の確保
- ・自ら求める研修の推進と高め合う組織文化の醸成

8 学園を核とした、小中一貫教育とコミュニティスクールの推進

- ・イェナプラン教育の理念を生かした異年齢集団や対話による学びの推進
- ・共に子供を育てる「共育」を目指す学校支援体制（保護者会の運営基盤）の構築